

第 7 交通曆年表

平成元年以降

	社会情勢（全国で発生した重大事故等）	主な道路交通法等改正	組織改編等
H元 1989			
H2 1990		・初心運転者期間制度の新設 (H2.9.1)	
H3 1991	第5次交通安全基本計画策定（S46以降、5年毎に策定） 東名高速道路における91台関連事故、9人死亡、99人負傷（愛知） JR福知山線において大型トラックと普通列車の事故、396人負傷（京都）	・地域交通安全活動推進委員制度運用開始 (H3.1.1)	運転免許課新宮分室を設置
H4 1992	北海道縦貫自動車道における車両186台関連事故、2人死亡、106人負傷 普通車と大型観光バスの正面衝突、1人死亡、36人負傷（神奈川）	・消音器不備車両の運転禁止 (H4.8.1) ・原付講習を導入（H4.11.1）	
H5 1993	名神高速道路における14台関連事故、8台炎上、4人死亡、8人負傷（滋賀） 名神高速道路における7台関連事故、5台炎上、6人焼死（愛知）		交通企画課に「安全教育班」を設置
H6 1994	大型路線バスと大型観光バスが衝突、59人が負傷（福岡）	・優良運転者制度、過積載対策、車輪止め装置を導入（H6.5.10）	高速道路交通警察隊の独立（以下「高速隊」）
H7 1995	8人乗車の普通車がガソリンスタンドに激突		

	<p>6人死亡（静岡）</p> <p>東名高速道路において普通車と大型バスが衝突、3人死亡、42人負傷（神奈川）</p>		
H 8 1996	<p>第6次交通安全基本計画策定</p> <p>上信越道における普通車同士の事故、5人死亡（長野）</p> <p>東名高速道路におけるトレーラー横転炎上事故、6人死亡（静岡）</p> <p>普通車と大型車2台の事故、11人死亡（兵庫）</p> <p>【全国】 交通事故死者9,943人 9年振りに1万人以下</p>	<p>・大型二輪免許及び普通二輪免許に関する規定の整備 (H8.9.1)</p>	
H 9 1997			
H10 1998	<p>普通車が祭礼山車行列に衝突、5人死亡、23人重軽傷（茨城）</p> <p>定員外乗車の普通車による単独事故、5人死亡、1人重傷（京都）</p> <p>定員外乗車の普通車による単独事故、高校生を含む5人死亡、1人重傷（福岡）</p>	<p>・高齢歩行者の保護、交通安全活動推進センター関連規定の整備 (H10.4.1ほか)</p> <p>・交通安全教育指針（国家交委員会告示） (H10.9.22)</p>	<p>新宮運転免許センターの運用開始</p>
H11 1999	<p>中央道における10台関連玉突き事故、20人重軽傷（山梨）</p> <p>東名高速において飲酒運転のトラックが普通車に追突、幼児2人焼</p>		

	死（東京）		
H12 2000	通学児童を車底部に巻き込み引きずったひき逃げ事件を殺人未遂で検挙（兵庫）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 走行中の携帯電話等の使用禁止 ・ 幼児用補助装置（チャイルドシート）の使用の義務付け (H12. 4. 1) ・ 高速自動車国道における軽自動車及び自動二輪車の最高速度引き上げ (H12. 10. 1) 	
H13 2001	<p>第7次交通安全基本計画策定</p> <p>あおり運転をした暴走族OBによる死亡ひき逃げ事件を傷害致死で検挙（埼玉）</p>	<p>刑法改正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 危険運転致死傷罪の新設 (H13. 12. 25) 	<p>運転免許課と運転免許試験場を統合</p> <p>交通企画課に「交通安全対策室」を設置</p>
H14 2002		<p>自動車運転代行業の業務の適正化に関する法律施行 (H14. 6. 1)</p> <p>改正道路交通法の施行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 飲酒、無免許運転等の罰則引き上げ ・ 一般運転者に係る免許の有効期間が5年に延長 (H14. 6. 1) 	交通指導課に「暴走族対策室」を設置
H15 2003	<p>【全国】</p> <p>交通事故死者7,768人 ピーク(S45:16,765人) の半分以下</p>		高速隊「印南分駐隊」を発足
H16 2004			
H17 2005		<ul style="list-style-type: none"> ・ 自動二輪車の二人乗り規制の見直し (H17. 4. 1) ・ A T限定二輪免許の導入 (H17. 6. 1) 	交通指導課に「交通捜査・暴走族対策室」、「交通鑑識係」を設置
H18 2006	<p>第8次交通安全基本計画策定</p> <p>福岡市における幼児3人が死亡した飲酒ひき逃げ事件</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 放置違反金制度の導入 (H18. 6. 1) 	交通指導課に「駐車違反取締センター」を設置

<p>H19 2007</p>	<p>兵庫県尼崎市における 3人が死亡した危険運 転致死事件</p>	<p>刑法改正 ・自動車運転過失致死傷罪の新 設 ・危険運転致死傷罪の改正 (H19. 6. 12) 改正道路交通法の施行 ・中型免許、中型自動車の新設 (H19. 6. 2) ・飲酒運転、ひき逃げ等の厳罰 化、飲酒運転助長行為（車両提 供・酒類提供・同乗）の整備 (H19. 9. 19)</p>	
<p>H20 2008</p>	<p>「交通事故死ゼロを目 指す日」の設定 埼玉県熊谷市における 危険運転致死傷及び道 路交通法違反（酒類提 供等）事件、死者2人、 重軽傷6人</p>	<p>・後部座席シートベルト着用義 務化 (H20. 6. 1)</p>	
<p>H21 2009</p>	<p>【全国】 交通事故死者4,979人 57年振りに5千人以下</p>	<p>・飲酒運転等の行政処分点数の 引き上げ ・講習予備検査（認知機能検査） の導入 (H21. 6. 1) ・高速道路等における車間距離 不保持の厳罰化 (H21. 10. 1)</p>	
<p>H22 2010</p>		<p>・高齢運転者等専用駐車区 間制度の導入 (H22. 4. 19)</p>	
<p>H23 2011</p>	<p>第9次交通安全基本計 画策定 栃木県鹿沼市における てんかんの持病を有す る運転者による自動車 運転過失致死事件、児 童6人死亡</p>	<p>・新高齢運転者標識の導入 (H23. 2. 1)</p>	
<p>H24 2012</p>	<p>京都市東山区祇園にお ける自動車運転過失致 死傷事件、7人死亡、 12人重軽傷 京都府亀岡市における</p>	<p>・聴覚障害者が運転できる車両 の種類を拡大 ・矢印信号に関する規定の整備 (H24. 4. 1)</p>	

	自動車運転過失致傷及び道路交通法違反（無免許運転）事件、3人死亡、7人重軽傷		
H25 2013	【和歌山県】 交通事故死者最少47人	<ul style="list-style-type: none"> ・無免許運転の罰則強化、幫助行為の罰則新設 ・自転車の路側帯通行に関する規定の整備 (H25.12.1) 	
H26 2014	北海道小樽市における危険運転致死傷及び道路交通法違反事件、3人死亡、1人が重傷 【和歌山県】 交通事故死者最少39人	<p>自動車の運転により人を死傷させる行為等の処罰に関する法律の施行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過失運転致死傷アルコール等影響発覚免脱罪の新設 ・無免許運転による加重規定の新設 (H26.5.20) <p>改正道路交通法の施行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・免許を受けようとする者等に対する質問等に関する規定の整備 (H26.6.1) 	
H27 2015	北海道砂川市における飲酒運転者らによる危険運転致死傷及び道路交通法違反事件、4人死亡、1人重傷	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車の悪質運転者に対する講習制度の新設 (H27.6.1) 	高速隊「すさみ分駐隊」を発足
H28 2016	第10次交通安全基本計画策定 長野県北佐久郡軽井沢町における大型貸切バス転落事故、15人死亡、26人重軽傷 愛知県一宮市におけるスマートフォンの画像注視に起因する過失運転致死事件、1人死亡 東京都立川市における高齢運転者による過失運転致死傷事件、2人死亡、1人軽傷 【全国】		

	交通事故死者3,904人 67年振りに4千人以下		
H29 2017	<p>東名高速道路におけるあおり運転に起因する危険運転致死傷事件、2人死亡、4人重軽傷（神奈川）</p> <p>【全国】 交通事故死者最少（S23以降統計）3,694人</p> <p>【和歌山県】 交通事故死者最少 38人</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・臨時認知機能検査及び臨時高齢者講習の新設 ・準中型自動車と準中型免許の新設（H29.3.12） 	<p>高速隊「橋本分駐所」の設置</p> <p>交通機動隊「みなべ分駐隊」を田辺警察署に移転し、「紀南分駐隊」に名称変更</p>
H30 2018	<p>堺市におけるあおり運転に起因する殺人事件</p> <p>【全国】 交通事故死者最少 3,532人</p> <p>【和歌山県】 交通事故死者最少 36人</p>		
H31 R元 2019	<p>東京都豊島区における高齢運転者による過失運転致死傷事件、2人死亡、10人が重軽傷</p> <p>滋賀県大津市における過失運転致死傷事件、園児2人死亡、14人重軽傷</p> <p>福岡市早良区における高齢運転者による過失運転致死傷事件、2人死亡、7人重軽傷</p> <p>【全国】 交通事故死者最少 3,215人</p> <p>【和歌山県】 交通事故死者最少 33人</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話等による「ながら運転」の厳罰化（R元.12.1） 【和歌山県】 ・飲酒運転の根絶に関する条例 ・自転車の安全利用の促進に関する条例（H31.4.1） 	

<p>R 2 2020</p>	<p>新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言の発令</p> <p>東京五輪・パラリンピックが延期</p> <p>【全国】 交通事故死者最少 2,839人</p> <p>【和歌山県】 交通事故死者最少 18人</p>	<p>・自動運転の技術の実用化に対応するための規定の整備 (R2. 4. 1)</p> <p>・妨害運転（あおり運転）に対する罰則の創設 (R2. 6. 30)</p>	
<p>R 3 2021</p>	<p>東京五輪・パラリンピック開催</p> <p>新型コロナウイルスワクチン接種開始</p> <p>千葉・八街における危険運転致死傷事件、児童の列に飲酒運転のトラックが突っ込み5人が死傷</p> <p>【全国】 交通事故死者最少 2,636人</p>		

※ 全国で発生した重大事故は、各年発行の「警察白書」掲載分を中心に掲載。